

『草笛のころ』『ショート・ピース』はどちらも双葉社より刊行。

19歳の私はカラッポで


何をしたいのかも自分が何者かも知らず迷走してどんづまり

漫画ぐらい描けるだろとナメた動機でペンを握りました



村野守美
「草笛のころ」
大友克洋
「ショート・ピース」

この2作は私の漫画屋生活の原点といえます




村野先生のタツ子と世界観をくすね

なんだコレ!? 村野先生のコピーじゃん!

万年筆とボールペンで描いた自信作を抱いて上京F社に持ち込み

デタラメだけど器用だな 村野先生原稿落としたんだ お前描くか?



村野先生の「草笛のころ」にぞっこんで

作中の「ひばり」にはシビれました



ペンひとつ使えない 無能の私が 大友先生の原稿を目のあたりにします



大友先生 落としそうなんだ お前手伝いに行くか?

行きます!



描きます!

一週間一睡もせず万年筆とボールペンでデビュー作を仕上げました





これがブロなんだ！
才能でやつだ！
くわーっ
とんでもない世界に
きてしまった！

おれ
カラッポだし

驚愕と戦慄と
すさまじい後悔で
自滅しそうな
ほどに
我を知りました



ちようど先生は
初めての単行本
「ショート・ピース」を
出された頃で

先生もまだ
24歳気鋭の
若者です

「童夢」も
「AKIRA」も
懐であたためて
いたころで

全身から放つ
才能と情熱の
オーラは
まさしく後光

今度
鉄人28号を
やりたいんだ
先生に
あいさつに
いこうと
思ってる

当時わけが
わかりません
でしたが
「AKIRA」
ですね

かつちりした
サインと
イラストを
いれてくれました



私の
ペンネームを
よく見て
ください

両先生の
才能に
あやかりたい
ずうずうしさ
がにじんで
いるでしょう



本宮ひろし
先生が
おっしゃって
ました

才能ある
フリ

情熱ある
フリ

以来私は
虚勢を張り
自分も
まわりも
ごまかして
きました

何でも
描けるフリ

「この世界
才能のない
やつは苦しい
だけだ」と
実感しましたよ

……
あれから
40年近い

